

これはアストラゼネカ英国本社が2005年10月27日に発信したプレスリリースの日本語訳です。  
日本で未発売の製品については英語標記のままとします。

## AstraZeneca PLC 2005年第3四半期・9カ月累計業績

「第3四半期、売上高9%増、1株当たり利益52%増で堅調推移：  
年間目標を上方修正」

### ファイナンシャルハイライト

グループ	第3四半期 2005 100万ドル	第3四半期 2004 100万ドル	前年 同期比 %	恒常 為替 %	9カ月累計 2005 100万ドル	9カ月累計 2004 100万ドル	前年 同期比 %	恒常 為替 %
売上高	5,789	5,265	+10	+9	17,664	15,627	+13	+10
営業利益	1,695	1,172	+45	+45	4,866	3,276	+49	+44
税引前利益	1,743	1,419*	+23	+23	4,978	3,549*	+40	+36
1株当たり利益：								
特別損益控除時	0.76ドル	0.51ドル	+49	+52	2.14ドル	1.46ドル	+46	+42
最終決算	0.76ドル	0.68ドル*	+12	+13	2.14ドル	1.63*ドル	+31	+27

\*2004年第3四半期には特別損益項目が2つあり、税引前利益で2億1,900万ドル、1株当たり利益で0.17ドルの増収要因となりました。これら特別利益を控除すると、1株当たり利益は第3四半期で前年同期比52%増、9カ月累計で42%増になります（いずれもCERベース）。

別段の記載がない限り、伸び率はすべて恒常為替レート（CER）

- 第3四半期の売上高は9%増の57億8,900万ドル、営業利益は45%増の16億9,500万ドルでした。
- 5つの主力成長製品（Nexium™、クレストール™、Symbicort™、アリミデックス™ およびセロクエル™）の好調な業績（5製品で売上高25%増）に牽引され、全体で売上高が増加しました。
- 9カ月累計売上高は10%増、営業利益は44%増を記録しました。9カ月累計営業利益率は売上高の27.5%でした。
- 9カ月累計フリーキャッシュフローは42億9,400万ドル、株の買い戻し額は9カ月累計で総額21億8,200万ドルです。
- Nexium™ の第3四半期売上高は18%増の11億2,700万ドルでした。
- クレストール™ の第3四半期売上高は23%増の3億2,500万ドルでした。米国スタチン市場の新規処方件数に占めるクレストール™ のシェアは10月14日終了週現在、6.8%でした。
- Symbicort™ の第3四半期売上高は28%増の2億4,000万ドルでした。喘息治療用pMDI製剤の米国承認申請は9月23日に当局に提出しました。
- アリミデックス™ の第3四半期売上高は36%増の3億3,000万ドルに達し、米国市場の総処方件数に占めるシェアは12月以降6.3ポイント増加しました。
- セロクエル™ の第3四半期売上高は32%増の7億6,000万ドルでした。
- 当社は通年の1株当たり利益を2.85ドルから2.95ドルの間と予想しています。

最高経営責任者トム・マキロップ卿は次のように述べました：「5つの主力成長製品の堅調な売上増と全社をあげた生産性向上の取り組みにより、この9カ月間に優れた業績をあげることができました。これを受けて、当社は通年の財務目標を引き上げました。」

2005年10月27日 ロンドン発

Media Enquiries:

Steve Brown/Edel McCaffrey (London)

(020) 7304 5033/5034

Staffan Ternby (Södertälje)

(8) 553 26107

Rachel Bloom-Baglin (Wilmington)

(302) 886 7858

Analyst/Investor Enquiries:

Mina Blair (London)/ Jonathan Hunt (London)

(020) 7304 5084/ 5087

Staffan Ternby (Södertälje)

(8) 553 26107

Ed Seage/Jörgen Winroth (US)

(302) 886 4065/(212) 579 0506

Photos of Jonathan Symonds, Chief Financial Officer are available on [www.newscast.co.uk](http://www.newscast.co.uk). Broadcast footage of AstraZeneca products and activities is available on [www.thenewsmarket.com/astrazeneca](http://www.thenewsmarket.com/astrazeneca)

## ビジネスハイライト 別段の記載がない限り、伸び率はすべて恒常為替レート (CER)

### 第3四半期

第3四半期の売り上げは恒常為替レートベースで9%、報告ベース（為替益1%を含む）で10%増加し、すべての地域で好調な売上増を達成しました（米国9%増；欧州8%増；日本6%増；他の地域13%増）。

研究開発費および販売・一般管理費の合計は恒常為替レートベースでも報告ベースでも2%増加しましたが、為替の影響はありませんでした。第3四半期の営業利益は45%増加しました。1株当たり利益は2004年の0.68ドルに対して0.76ドルに上昇しました。2004年の利益には売却益と税額控除による例外的項目の利益0.17ドルが含まれます。前年の利益からこれらの特別損益項目を除くと、第3四半期の1株当たり利益は52%増となります。

5つの主力成長製品（Nexium™、クレストール™、Symbicort™、アリミデックス™ およびセロクエル™）の堅調な業績が当期の売上増を牽引しました。これら5製品の売上高は合計で25%増の27億100万ドルを記録しました。

Nexium™ の売上高は18%増の11億2,700万ドルに達し、米国（17%増）でもその他の市場（19%増）でも順調な伸びを示しました。

クレストール™ の第3四半期売上高は23%増の3億2,500万ドルを記録し、このうち米国内の売り上げが1億8,900万ドルを占めます。米国スタチン市場の新規処方件数に占めるクレストール™ のシェアは6月の5.9%から10月14日終了週現在、6.8%に上昇しました。

Symbicort™ の売上高は28%増の2億4,000万ドルでした。Symbicort™ の喘息治療用pMDI製剤の米国承認申請は9月23日に当局に提出されました。

アリミデックス™ の第3四半期売上高は、乳がん治療用アロマターゼ阻害剤のマーケットリーダーの地位を足場に、初めて3億ドルを突破しました（36%増の3億300万ドル）。

セロクエル™ の売り上げは7億600万ドルでした。米国内（30%増）でもその他の市場（41%増）でも堅調な伸びを記録しました。

9月以降、当社はPulmicort™ Respules™、セロクエル™ およびNexium™ に関連する一部のアストラゼネカ特許権に関して、無効と不侵害を主張する第4項の証明を含む通知書を受領しています。当社はこれらの製品を保護する知的所有権に全面的な信頼を置いています。

### 9カ月累計

9カ月累計の売上高は恒常為替レートベースで10%増、（為替益3%を含む）報告ベースで13%増を記録し、米国の売り上げは13%、その他の市場は8%増加しました。この9カ月間の成長にはNexium™（20%増）、クレストール™（51%増）、Symbicort™（22%増）、アリミデックス™（45%増）、セロクエル™（35%増）の堅調な業績が貢献しました。これら5製品の売り上げは合計で29%増の79億500万ドルに達しました。

全社をあげて生産性向上に邁進した結果、当初の予想を上回る収益を計上することができました。堅調な売上増と生産性向上を反映して、営業利益は44%増加しました。研究開発費をはじめとする事業関連費は現在のところ前年を下回っていますが、Zactima™ およびAZD2171など新しい開発後期製品の大規模な臨床試験が開始するため、今後は増加する予定です。1株当たり利益は昨年1.63ドルに対し、2.14ドルでした。2004年の特別損益項目の利益0.17ドルを控除すると、9カ月累計の1株当たり利益は42%増となりました。

### 今後の見通し

当社は本年の売り上げについて、引き続き恒常為替レートベースで二桁の成長を予想しています。この堅調な売上増とともに生産性の大幅な向上によって、本年の1株当たり利益は2.85ドルから2.95ドルの間になると予想されます。

注意：当社の利益やビジネスの見通しに対する上記の予測的な記述はリスクや不確定要素をともなっており、実際の結果はこれらと大きく異なる可能性があります。たとえば、米国におけるオメプラゾールの後発品の売上伸び率、既存製品の継続的成長（特に、クレストール™、Nexium™、セロクエル™、Symbicort™、アリミデックス™、カソデックス™）、コストや経費の増加、利率の動き、為替レートの変動、税率などがリスクや不確定要素です。これらやその他のリスクや不確定要素については、2004年アニュアルレポートForm20 - Fを含む証券取引委員会への有価証券報告書をご覧ください。

## 売上高

別段の記載がない限り、伸び率はすべて恒常為替レート（CER）。

### 消化器

	第3四半期		CER %	9カ月累計		CER %
	2005	2004		2005	2004	
Lossec™/Prilosec™ (オメプラール)	376	430	-15	1,241	1,501	-20
Nexium™	1,127	951	+18	3,386	2,777	+20
合計	1,518	1,407	+7	4,678	4,342	+6

- Nexium™ の米国での第3四半期売上高は卸在庫減の影響を受け、対前年比17%増でした。調剤錠剤量は13%増加しましたが、販売価格の低下により一部相殺されました。9月現在、米国PPI市場の総処方件数に占めるNexium™ のシェアは前年12月から2.2ポイント増の29.1%でした。
- Nexium™ の米国での9カ月累計売上高は18%増でした。
- 米国以外の市場におけるNexium™ の売上高は第3四半期19%増、9カ月累計25%増であり、特にフランスとドイツで好調な伸びを示しました。
- Prilosec™ の米国での9カ月累計売上高は33%減少しました。米国以外の市場でもLossec™（オメプラール）の売り上げは全体で18%減少しましたが、日本では27%増、中国では22%増を達成しました。

### 循環器

	第3四半期		CER %	9カ月累計		CER %
	2005	2004		2005	2004	
Seloken™/Toprol-XL™ (セロケン)	437	353	+23	1,280	1,006	+26
Atacand™	238	214	+9	727	639	+10
Plendil™ (スプレンジール)	82	102	-22	287	361	-22
ゼストリル	83	105	-22	248	327	-27
クレストール™	325	260	+23	915	596	+51
合計	1,327	1,208	+9	3,954	3,456	+11

- Toprol-XL™ の米国の売上高は第3四半期で31%増、9カ月累計で33%増でした。2004年に発生した卸在庫減の影響を受け、9カ月間の推定成長率24%を上回りました。
- 米国以外の市場におけるセロケン™ の売上高は、第3四半期で3%増、9カ月累計で7%増でした。
- Atacand™ の米国の売上高は第3四半期で11%減、9カ月累計で5%減でした。心不全の適応追加後にプロモーション活動を積極的に行ったことで、この数カ月間に米国市場の処方件数におけるAtacand™ のシェアが安定してきました。
- 米国以外の市場におけるAtacand™ の売上高は、第3四半期で18%増、9カ月累計で16%増でした。
- 米国でのクレストール™ の第3四半期売上高は17%増の1億8,900万ドルでした。米国スタチン市場の新規処方方に占めるクレストール™ のシェアは10月14日終了週で6.8%でした。ダイナミックマーケット（新規、切り替えの患者）のシェアは先週9.9%を記録。米国内の9カ月累計売上高は52%増でした。
- 米国以外の市場でのクレストール™ の売上高は欧州のフランスおよびイタリアの堅調に支えられ（9カ月累計売上高51%増）、第3四半期で34%増、9カ月累計で48%増を達成しました。クレストール™ のスタチン市場における販売量ベースでのシェアは、カナダ12.4%、オランダ10.4%、イタリア11.7%、フランス5.7%でした。

- スプレンジール™ の売り上げは、米国市場への競合後発品参入の影響を受け、第3四半期で22%減、9カ月累計売上高は44%減でした。

## 呼吸器

	第3四半期		CER %	9カ月累計		CER %
	2005	2004		2005	2004	
Symbicort™	240	185	+28	742	578	+22
パルミコート™	234	211	+10	824	737	+10
Rhinocort™	91	87	+4	295	268	+9
アコレート™	14	31	-55	55	84	-36
Oxis™	23	25	-12	69	76	-14
合計	636	574	+10	2,100	1,861	+10

- Symbicort™ の第3四半期売上高は28%増の2億4000万ドルに達し、9カ月累計では22%増でした。米国内での喘息治療用pMDI製剤の承認申請は9月23日に当局に提出しました。新しい喘息治療法「Symbicort™ 維持・リリーバー療法」に関するEU相互認証変更手続きを10月26日に開始しました。
- パルミコート™ の売り上げが世界全体で増加したのは、引き続き米国内でPulmicort™ Respules™ が堅調な売れ行きを示したためであり、同製品の売上高は第3四半期で43%増、9カ月累計で34%増でした。これは良好な成長基調と卸在庫変動によるものでした
- 価格の変更とマネジドケアの払い戻し調整がプラスに作用し、主に米国市場でのRhinocort™ Aquaの売り上げ増（11%増）に牽引され、Rhinocort™ の9カ月累計売上高は9%増を示しました。米国でのRhinocort™ の総処方件数は9カ月累計で8%減少しました。

## オンコロジー

	第3四半期		CER %	9カ月累計		CER %
	2005	2004		2005	2004	
カソデックス™	276	258	+7	840	736	+11
ゾラデックス™	258	236	+7	752	675	+7
アリミデックス™	303	221	+36	856	578	+45
イレッサ™	61	113	-46	201	309	-36
Faslodex™	37	24	+50	101	73	+35
ノルバデックス™	26	30	-13	86	99	-15
Total	963	885	+8	2,844	2,481	+12

- カソデックス™ の米国の売上高は、おおむね処方件数の減少傾向に連動して第3四半期は2%減となりましたが、9カ月累計売上高は在庫変動と価格設定により6%増でした。
- カソデックス™ の米国以外の売上高は、第3四半期で10%増、9カ月累計で14%増でした。9カ月累計売上高は欧州で10%増、日本で18%増でした。
- アリミデックス™ の米国の売上高は、第3四半期で40%増、9カ月累計で59%増でした。総処方件数の増加率は9カ月累計で42%に上りました。米国では、乳がんのホルモン治療剤の総処方件数に占めるアリミデックス™ のシェアが9月に33.2%に達しました。第3四半期に1.6ポイント上昇し、今年初めからは6.3ポイントの上昇となりました。
- アリミデックス™ の米国以外の売上高は欧州（36%増）と日本（31%増）での好調な伸びに支えられ、第3四半期で34%増、9カ月累計で37%増でした。
- イレッサ™ の第3四半期売上高6,100万ドルにはアジア太平洋地域の売り上げ4,600万ドル（第3四半期7%増）が含まれます。アジア太平洋地域の9カ月累計売上高は9%増であり、中国をはじめとする市場の売り上げ増が日本の14%減を相殺し、さらに売上高の増加に貢献しました。

- 米国におけるイレッサ™ の第3四半期売上高は1200万ドルを計上しました。これは、すでに本剤を使用してベネフィットを受けている患者に本剤の使用を制限するよう添付文書の表示を改訂したことを受けています。
- Faslodex™ は昨年3月の販売承認以降、欧州で堅調な伸びを見せ、9カ月累計売上高は1億100万ドルに達しました（35%増）。米国での9カ月累計売上高は8%増の6700万ドルでした。

## ニューロサイエンス

	第3四半期		CER %	9カ月累計		CER %
	2005	2004		2005	2004	
セロクエル™	706	529	+32	2,006	1,465	+35
ゾーミック™	86	81	+5	258	267	-6
合計	1,001	880	+13	2,975	2,558	+14

- セロクエル™ の米国市場の売上高はおおむね販売増加基調に連動して、第3四半期で30%増、9カ月累計で33%増を記録しました。9月現在、米国新規処方市場に占めるセロクエル™ のシェアは29.7%に上昇し、上位3製品のなかで今年シェアを拡大したのはセロクエル™ のみでした。
- 米国以外の市場におけるセロクエル™ の売上高は、欧州（53%増）およびカナダ（32%増）でのこれまでの好調な業績を受け、第3四半期で41%増、9カ月累計で43%増を記録しました。
- ゾーミック™ の米国での第3四半期売上高は7%減でした。総処方件数は第3四半期に5%減少しました。4月1日に本剤の販売権がMedpointeからアストラゼネカに返還されましたが、それ以前の2005年第1四半期の売上げが低調で、9カ月累計の売上高は27%減となりました。
- ゾーミック™ の米国以外の市場における売上高は第3四半期で11%増、9カ月累計で9%増でした。

## 地域別売上高

	第3四半期		CER %	9カ月累計		CER %
	2005	2004		2005	2004	
米国	2,621	2,407	+9	7,864	6,974	+13
欧州	2,012	1,858	+8	6,374	5,661	+8
日本	367	352	+6	1,103	1,018	+8
その他	789	648	+13	2,323	1,974	+11

- 米国の第3四半期売上高は、特許切れ製品およびイレッサ™ の売上減の影響を上回る主力成長製品とToprol-XL™ の堅調な業績に支えられ、良好な業績を達成しました。
- 欧州の第3四半期の業績は、オメプラゾール™ の18%売上減を上回る5つの成長製品（27%増）の売上増に牽引されました。
- 日本の第3四半期の売上げは、オメプラール™（35%増）、カソデックス™（15%増）、ゾラデックス™（11%増）、アリミデックス™（24%増）の堅調な売上増を反映しています。
- 中国の第3四半期売上高は、Losec™（オメプラール）の堅調な売上増ならびにイレッサ™ の発売を受け、25%増の6,100万ドルを達成しました。

## 財務レビュー

別段の記載がない限り、伸び率はすべて恒常為替レート（CER）ベース。

### 第3四半期

報告ベースで売上高は10%増、営業利益は45%増でした。恒常為替レートベースでは売上高は9%増、営業利益は45%増でした。米国内での販売業務契約の導入に成功し、グループ全体および米国市場の報告ベースの売上高は需要基調を反映しています。しかし、個々の製品の売り上げには前年の卸売業者の購入パターンが引き続き影響しています。

売り上げは為替益により1%増加しましたが、営業利益に為替の影響はありませんでした。前年の第3四半期に比べると、ユーロに対してわずかにドル安となり、売り上げにプラス影響が出ました。一方、スウェーデンクローナ（2%）や英ポンド（2%）に対してはドル高であり、コスト減となりました。全体として、当期は2004年からのヘッジ利益が期待されないために為替変動による利益が相殺され、第3四半期の1株当たり利益は1セント減少しました。

報告ベースの営業利益率は22.3%から29.3%に7.0ポイント上昇しました。為替により0.3ポイント低下し、他の収益により0.2ポイント上昇したため、当期の実質的改善率は7.1ポイントでした。

売上総利益率は2.9ポイント増の78.5%でした。為替により0.7ポイントのマイナス影響を受け、メルク社に対する支払い比率は前年並みに売上比4.8%でした。前年第3四半期にExanta™の在庫や資産の引当金8,000万ドルを計上したため、総利益率が押し下げられましたが、これを控除すると、製品構成および業務効率の改善により当期は1.9ポイントの改善となりました。

研究開発費と販売・一般管理費の総費用は28億3,700万ドルで、前年より2%増加しました。前年同期に比べ、研究開発費と販売・一般管理費は営業利益率の改善に3.5ポイント貢献しました。開発後期臨床試験の費用が2004年よりも低かったうえ、引き続き生産性の向上に注力したことで、当期の研究開発費は4%減少しましたが、Nexium™、クレストール™ およびセロクエル™ に関する米国内での投資額が増加したため、販売・一般管理費は4%増加しました。

金融商品に関する公正価格調整として第3四半期に1800万ドルを計上しました。このうち500万ドルは売上原価の減少として、300万ドルは支払い利息の増加として、また1000万ドルは研究開発費の減少として計上しました。

### 9カ月累計

報告ベースの売上高は13%増、営業利益は49%増でした。恒常為替レートベースによる売上高は10%増、営業利益は44%増でした。

報告ベースで為替は売上高に3%、営業利益に5%のプラス影響を与えました。累積ベースで為替のプラス影響により、1株当たり利益は6セント増でした。当社は最近のドル高傾向と2004年第3四半期に得られたヘッジ利益の反復が今期は期待できないことから、本年は2~3セントの減少と予想しています。

営業利益率は21.0%から27.5%に6.5ポイント増加しました。為替による0.1ポイントのプラス影響が他の収入（主に昨年のDurascan事業の売却益）による0.6%の低下によって相殺されたため、9カ月累計の実質的な営業利益改善率は7.0%でした。

売上総利益率は1.1ポイント増の77.5%でした。メルク社に対する支払い比率の低下（売上比4.8%）と為替は売上総利益率に対しそれぞれ0.1%のプラス影響を与えました。昨年のExanta™ 関連引当金および本年のMedpointe社とのゾーミック™ 販売契約終了に伴う費用を除くと、実質的に0.4ポイント改善しました。

生産性向上の取り組みによる利益とともに、研究開発費と販売・一般管理費の投資サイクルの低下により、研究開発費と販売・一般管理費の9カ月累計総額は2%減少しました（報告ベースで1%増）。前年同期と比較して、研究開発費と販売・一般管理費総額の減少は、営業利益率に対し6.0ポイントのプラス影響を与えました。

金融商品に関する公正価格調整として9カ月間に6,100万ドルを計上しましたが、このうち5,200万ドルは売上原価として、400万ドルは支払い利息として、500万ドルは研究開発費として計上しました。

## 利息および配当収入

第3四半期の正味利息・配当収入は4,800万ドル（2004年は2,800万ドル）で、9カ月累計は1億1,200万ドル（2004年は5,400万ドル）でした。前年からの増加は、主に平均投資残高と利回りが昨年を上回ったことによります。計上金額にはIAS（国際会計基準）19号に基づく従業員給付基金の資産と負債による正味利息収入（9カ月累計1,300万ドル、第3四半期300万ドル）を含みます。

## 税金

実効税率は第3四半期29.4%（前年同期の特別損益項目控除後税率28.9%）、9カ月累計29.8%（前年同期の特別損益項目控除後税率25.9%）でした。この前年からの税率の上昇は、収益が様々な地域から発生していることとLosec™（オメプラゾール）の罰金に関する控除がないことによります。また、2004年は関連税務当局との合意による繰越利益に関する繰延税金負債の一時的な減額があり、これによるプラス影響がありました。通年の税率は29%から30%と予想されます。

## キャッシュフロー

営業活動によるキャッシュフローは48億1,400万ドルで、2004年の9カ月累計より20億1,500万ドル増加しました。これは主に15億9,000万ドルの営業利益の増加と5億9,000万ドルの運転資本におけるキャッシュフローの改善（在庫の減少と債務の増加による）によります。

投資活動による9カ月累計現金収入は前年同期の6億9,400万ドルに対して6億2,100万ドルでした。資本支出は2億4,700万ドル減少し、5億8,600万ドルを計上しました。前年同期は事業部門の処分に伴い、3億800万ドルの売却益がありました。

当期のフリーキャッシュフロー（短期預け入れ金の移動を調整した財務活動を含まない正味キャッシュフロー）は42億9,400万ドルでした。正味株式買戻し額21億600万ドル、株主に対する配当17億1,700万ドルのほか、外国為替の影響を控除すると、現金・預金等は3億6,200万ドル増加しました。

2005年9月30日現在の正味現金資金は、2004年12月31日より4億3,300万ドル高い43億9,800万ドルでした。

## 株の買い戻しプログラム

第3四半期中に総額10億ドルを投じて普通株式2,130万株を買い戻し消却しました。これにより、本年の9カ月累計買い戻し株数は4,980万株、総額21億8,200万ドルになりました。通年の株の買い戻し額は30億ドルを超えると予想しています。

2005年9月30日現在、発行済株式の総数は15億9,700万株です。

## 研究開発の最新情報

固形癌治療薬である血管内皮増殖因子（VEGF）シグナリング阻害剤AZD2171の開発が進み、第II/III相臨床試験に入ります。

喘息治療用Symbicort™ pMDI製剤の米国NDAの申請に加え、10月26日より新規喘息治療法「Symbicort™ 維持・リリーバー療法」のEU相互認証変更手続きを開始しました。

双極性うつ病へのセロクエル™ の使用を適切に評価した2件の主要試験（BOLDER IおよびII）の結果にもとづき、2005年の終わりに同適応に関して米国規制当局に承認申請を行う予定です。

現在、虚血性脳卒中の急性期治療薬である最新フリーラジカル捕捉神経保護剤Cerovive™の承認申請は、CHANTおよびSAINT II試験の結果を前提に2007年上半期に予定しています。出血性脳卒中患者を対象にCerovive™を評価したCHANT試験は現在、被験者の募集が終了し、2006年第1四半期には結果が得られる予定です。

心房細動から転換後の洞調律を維持するAZD7009の経口徐放剤の開発を中止しました。心房細動から洞調律への転換を目標とする静注剤の開発プログラムは現在、第II相試験の段階にあります。

過活動膀胱の治療薬AZD7371を評価する第II相臨床プロジェクトも終了しました。

AstraZeneca開発パイプラインの詳しい最新情報は、2005年アニュアルレポートに掲載されます。

## カレンダー

---

2006年2月2日	2005年第4四半期・通年業績発表
2006年4月27日	2006年第1四半期業績発表
2006年4月27日	2006年年次総会開催
2006年7月27日	2006年第2四半期・上半期業績発表
2006年10月26日	2006年第3四半期・9カ月累計業績発表

トム・マキロップ卿  
最高経営責任者